

【重要】本協会主催大会における監督・コーチの公認スポーツ指導者資格義務付けについて

2025 年度より本協会主催の大会において、監督・コーチに原則として（公財）日本スポーツ協会（以下「JSP0」という）公認スポーツ指導者の資格所有を義務付けとなります。これは 2022 年にスポーツ庁が制定した『第 3 期スポーツ基本計画』に基づく JSP0 の取組みによるもので、本協会のみならず、すべての中央競技団体が対応を求められています。対象大会へ参加される場合は、以下の事項を確認の上、エントリーシステムへご登録ください。

1. 対象大会について

資格義務付けとなる本協会主催大会ならびに主要な大会での資格義務付けは下表のとおりです。本協会主催の各大会における監督・コーチの登録については、資格義務付けにより所有資格の審査が必須となるため、エントリーシステムへ JSP0 公認コーチ登録番号を入力願います。監督・コーチのいずれかの有資格者が 1 名以上含まれていることを義務付けられます。JSP0 公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ローイングスタートコーチ、公認ローイングコーチ 1、公認ローイングコーチ 2、公認ローイングコーチ 3、公認ローイングコーチ 4 のいずれかの資格を有しているものとします。

資格義務付け対象大会		監督・コーチ	必要資格および資格義務付け開始年度			
			2025年度	2026年度	2027年度	2030 年度
JARA 主催大会	SBS、派遣選考(ナショナルチーム、海外大会派遣) コースタル、パラ含む	所属コーチ (大会エントリー)	コーチ3以上が 望ましい	同左	コーチ3以上	同左
		※部活動顧問	スタートコーチ以上	同左	同左	
	ナショナルチーム 帯同コーチ	コーチ3以上	コーチ4が望ましい	コーチ4以上		
	全日本ローイング選手権大会	監督またはコーチ	スタートコーチ以上	同左	同左(完全義務付)	
	全日本社会人ローイング選手権大会	監督またはコーチ	スタートコーチ以上	同左	同左(完全義務付)	
	全日本中学校選手権大会	監督またはコーチ	スタートコーチ以上	同左	同左(完全義務付)	
	全日本大学ローイング選手権大会	監督またはコーチ	スタートコーチ以上	同左	同左(完全義務付)	
	オックスフォード周レガッタ	監督またはコーチ	スタートコーチ以上	同左	同左(完全義務付)	
	ジャパンオープンレガッタ	監督またはコーチ	スタートコーチ以上	同左	同左(完全義務付)	
	全日本新人ローイング選手権大会	監督またはコーチ	スタートコーチ以上	同左	同左(完全義務付)	
主要大会 (参考)	JARA後援・共催等の大会	監督またはコーチ	スタートコーチ 以上が望ましい	スタートコーチ以上	同左	同左
	国民スポーツ大会(JSP0 主催)	監督	コーチ 1 以上	同左	同左	同左
	帯同コーチ	—	—	—	—	スタートコーチ以上
	全国高体連主催大会	監督	—	—	—	スタートコーチ以上

※SBS、派遣選考 U19 のエントリーについては、学校管理下の部活動顧問に限り、スタートコーチ以上でのエントリーを認める。コーチングについてはコーチ 3 以上の上位資格者と協力し、安全で効果的な活動を行うこと。

※経過措置として、2026 年度まで JSP0 公認指導者メディカル資格（スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士）を必要資格として認める。

※全国高等学校総合体育大会は、主催は公益財団法人全国高等学校体育連盟（高体連）となるため、高体連の要項になる。2030 年の日頃の指導の場での義務付けは国の方針。

※IF 主催大会、JOC、JPC、JARA 派遣の帯同サポートコーチについては、原則コーチ 3 以上取得者で派遣承認。2026 年アジア大会以降はコーチ 4 取得義務付化を努力目標とする。パラ競技ナショナルチームについては、JSP0 公認コーチ 3 以上に加え、JPSA 公認パラスポーツ指導者資格の取得も義務付とする。

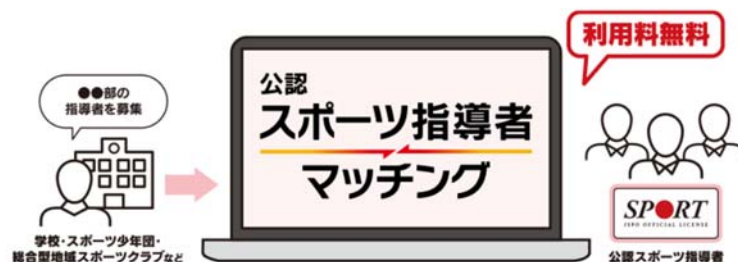
※JARA 後援・共催大会について、2026 年度以降は公認コーチ資格義務付を条件に後援および共催の承認とする。

2. 猶予措置について

特例として以下のとおり対応します。猶予期間措置として公認コーチ養成講座への参加計画と大会参加申請書を提出することで認めることとします。また、有資格者とのマッチングもご検討ください。

- (1) 養成講座修了し資格登録待ちの方  
公認資格養成講習会の受講修了後の登録手続きと資格認定までのスケジュールを考慮し、公認資格取得者と同等の者として扱うことができる者については、登録番号をエントリーシステムへ入力し、申請書を提出。
- (2) 今年度公認コーチ養成講座受講の方  
申請書を提出。  
今年度開催の公認資格養成講習会への申込を随時行う。
- (3) 公認スポーツ指導者制度に基づく、メディカル資格所持者  
特例措置として2027年度までスポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士を対象とする。登録番号をエントリーシステムへ入力し、申請書を提出。
- (4) マッチング  
JSPOのマッチングサイトなどを活用し、有資格者とのコーチ契約も検討ください。  
<https://coach.japan-sports.or.jp/matching.html>  
また、公認資格を持っているものの、現在コーチの職に就いていない方は、その資格を有効に活用するために、ぜひ「指導者マイページ」より登録を行ってください。資格保持者としての活動は、スポーツの振興と選手育成に貢献する貴重な機会となります。

あなたの学校やクラブが求める  
スポーツ指導の専門家（公認スポーツ指導者）を募集・検索できるサイトです。



以上

公益社団法人日本ローイング協会  
競技委員長 殿  
指導者資格委員長 殿

所属団体名：

## 公認コーチ資格義務付けに関する 大会参加特別措置適用申請書

下記の理由により、公認コーチ資格義務付け大会参加における特別措置を申請いたします。  
なお、2027年度完全義務付けまでに JSP0 公認コーチ資格取得することを約束いたします。

理由：養成講座受講済資格登録待  
今年度受講中  
今年度受講予定  
メディカル資格所有

大会名：  
開催日：  
会場：

参加クルー名：  
連絡先メールアドレス：

公認コーチ資格登録番号（登録待ち、本年度受講の場合）：  
未取得かつ本年度まで受講予定なしの場合は資格取得計画を記載：

申請者の署名： 日付：